

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	タイ・言語と文化プログラム
-----	---------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25000 円	朝食はホテル、昼食は用意されました
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6540 円	eSIM 費用 15日分
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩10分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	2000 円	交通費
その他	30000 円	例:お土産、バー、お菓子等
合計	63540 円	プログラム費用を除いた個人的費用

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法: 日本円を必要分持ち込み、現地のレートの良い換金所でパーツに換えた。
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 VISA のクレジットカードが便利でバンコク内の商業施設だけでなく、地下鉄でも Suica のようにタッチだけで改札を通れます。他の電車や交通手段、一部施設では現金のみの場合があるので現金も重要です。JCB が使えることもあり、デビットが JCB の私は費用が分かりやすいよう使える時は使っていました。海外手数料が気になるのであれば現金多めが良いでしょう。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 World eSIM を利用しました。無制限 15 日分 6540 円でした。ポケット wifi のように場所も取らず、バンコク内ではどこでもインターネットが使えるので非常に便利です。スマホの機種によりますが購入・インストールも簡単です。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 貴重品をまとめられる小さな手荷物が防犯上便利でした。日差しが強く空気汚染もあるため、日傘・日焼け止め・サングラス・マスクもあると便利です。虫よけも持っていくとよいでしょう。また常備薬も大事です。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
 基本的に財布やパスポート等の貴重品は小さい手荷物に入れて外出時に体の前方にかけて携帯していました。ホテルでもスーツケースにはカギをして外出していました。バンコク内は安全と感ぜず盗難等の被害にはあいませんでした。万が一のため注意はしました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 基本的にバンコク内での生活でしたが接続は問題なく、eSIM 無制限でしたので快適に利用できました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☐キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

タイバンホテルに泊まりました。広さやベッドやトイレシャワー(ユニットバス)等は基本的に申し分ないですし、朝食もバイキング形式で日本人の口に合うものもしっかり食べられます。歯ブラシ髭剃りといったアメニティはないのでこれらの用具は持って行った方が良いでしょう。またシャンプー・ボディソープはありますがあまり泡だたないため、気になる人は持っていくか現地調達がおすすめです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

本プログラムの良かった点として、宿泊ホテルと大学が近い点、昼食や水といった必要なものが提供される点、寺院の見学や国立公園の見学といった座学以外の活動がある点です。

2)課外プログラムについて

大学以外の場所をめぐる機会はいくつかありますが、個人的に印象的だったのはクンダーンプラカーンチョンダムとワットパクナムです。前者はカオヤイ国立公園の近隣にありボートに乗って国立公園の一部を見て回ることができました。ワットパクナムはタイの寺院の一つで、巨大な仏像や建物内の緑の仏塔が有名で、ネットでしか見るることのできないものを実際に目にすることができました。その他にも学外での活動がいくつかあります。

3)現地での生活に関すること

バンコクの都心での生活のため、生活の基本的な部分は日本と変わらずに過ごせました。コンビニやショッピングモールや飲食店が周りに多いため生活には困らないと思います。移動手段も電車やタクシーと充実しています。一方でスパイスの聞いた料理など食事が日本と異なることも多く体調を崩す人もいるので胃薬やその他常備薬があると安心です。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

大学内での授業にはバディという現地学生が数人おり手助けしてくれます。基本的には英語での会話ですが全員上手く積極的に話しかけてくれますし、また簡単なタイ語で会話をすることもあり、非常に交流がしやすかったです。課外活動にも来てくれるため仲良くなりやすいと感じました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

授業や課外活動を通して親睦を深め連絡先を交換し、授業後にレストランに連れて行ってもらったり、アジアティークという遊園地に一緒に行ったり、バンコク内の公園で一緒にボートに乗ったりと様々なことを楽しみました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

寺院やお坊さんの服装の外見が日本の仏教のそれとはかなり異なりました。タイの方の寺院はかなり派手な装飾が多くお坊さんの服装も橙色で教科書でしか見たことがありませんでしたが実際に見てみるとかなり印象的でした。また、大麻ショップがいたところがあり、日本では嗅いだことのないような臭いが店前に漂っていました。王室の写真が町中に多く掲げられているのも印象的でした。日本でいう天皇だと思いますが、街中や店の中や家の中のあらゆるところに写真があり王室の在り方の違いを感じました。大学の中でもマーケットが開かれていたのも驚きでした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は以前ベトナムに渡航したことがあり東南アジアへの渡航としては二回目となりましたが、かなり魅力的で刺激的な二週間となりました。まず現地で協力してくれるバディが非常に良かったです。非常に友好的に接してもらい、学外でも交流することができましたしとても楽しかったです。授業も印象的で、タイ語を学ぶのですが自分の名前をタイ風にしてもらったり、実用的な言葉を教えてもらったりと飽きないような授業でした。しばらくたつとタイ語で冗談を言い合ったりもできました。授業外活動では寺院を巡ったり、ナコーンナーヨック県に一泊しダムやカオヤイ国立公園の一部を巡ったり、現地の農家で果物を採集したりと記憶に残るような活動が多くありました。生活も立地の良さという要因もありかなり快適に過ごせましたし、そうした中でもトウクックやタイ料理、ナイトマーケット等他文化を感じられる部分も多かったです。他文化やそこに住む人々と関わることで学ぶことの楽しさを知れたプログラムでしたし、こういった機会を活かし、またもし次があれば最大限楽しめよう、他文化や言語といった教養を深めていく大学生活にしていこうと考えています。様々なプログラムがありますが、もしこのプログラムに迷っている学生がいれば、後悔はしないと断言します。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	タイ文化言語プログラム
-----	-------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25,000 円	朝はホテルのビュッフェ、昼とおやつがお弁当などで準備してくれた。デパートに入っているレストランやタイスキなどを数回、ほとんど毎日カフェに行っていたので食費は多くかかっている方。フードコートや屋台で夕飯を済ませるのらかなり節約できる(一食 100 パーツあれば充分)。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで徒歩 10 分)
教養娯楽費	10,000 円	交通費、お土産など
被服費	10,000 円	
雑費	3,000 円	洗濯など(コインランドリーなどは使わず、ウォッシュ & ドライのクリーニングに任せた。)
その他	円	例:
合計	51,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 事前に2万円(2026 年 2 月時点 4000 パーツ)ほど換金してちょうどよかった。 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
コンビニなどでは 200 パーツ以下だとカードが使えない場合が多かったり、屋台を利用することが多かったので現金は必須。交通も MRT(地下鉄)は VISA と master のタッチ利用可能だが、BTS(スカイトレイン)は現金のみだった。 またカードは VISA、Master、JCB が基本的で、American Express 等は使えない場所も多かった。なので VISA、Master(できればタッチ機能付き)と現金の両方が推奨。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
アプリの容量無制限の eSim を利用した。少し割高だったが、通信に困ったことはなかったので良かった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

使う機会はなかったが、安心材料として正露丸や胃薬を持って行ってよかったと思った。基本的には化粧水やシャンプー類など小さく包装されたものが薬局やコンビニで多く売っていて、逆に色々持って行き過ぎてしまったなと感じた。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり(問題の内容や相談した人等:) 特記事項: 何か問題があれば、明治大学 ASEAN センターのスタッフ方に相談できると思います。優しく日本語もとても上手なので英語でも日本語でも気軽にお話を聞いてくれます。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
たびレジに登録されるので、定期的な事例や注意喚起のメールがくるのでそういった連絡には目を通していた。 犯罪には巻き込まれなかった。夜に細い道などを歩かない、人のいる道や大通りを歩くことは心がけた。どんな時間帯でも大通りなら基本的に人が多いので安心できた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
一度バンコクを離れ郊外にでたが、その時も接続は良好だった。基本的に電波・通信問題はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数2人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
朝食がとても美味しかった。部屋によって、シャワーのみの部屋とバスバブ付きがあるようだった。広さもありとても良かった。ただ周辺に大麻を販売する店などが多かったので間違えて入らないように少し気をつける必要がある。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
よかった点: 初めてタイに行く機会となったが、本当に楽しかった。ただの旅行ではなく、学校の授業やバディ、先生たちとの交流の時間を通してタイの文化をよく理解できたと思う。本当に人が優しく、おおらかでストレスが少なく過ごすことができた。自由時間が想像よりもあったので、行きたい場所や食べたいものなどあらかじめ考えておくともっと充実して過ごせたなと感じた。 授業に関しては、初歩的なタイ語からタイの文化、伝統的な曲や舞踊などを習った。
よくなかった点: 予定がかなり多く、体力的に疲れてしまう日があった。しっかりと体やメンタルを整える時間が必要だと感じた。また行きの飛行機が雪の影響で大幅に遅延したのと到着時の乱気流がかなりひどく、初日からペースが崩されたのが残念だった。
2) 課外プログラムについて
お屋の他におやつをたくさん準備してくれた。 また一泊二日でナコーンナーヨックという県に出かけた。果物畑で果物狩りをしたり、地域のご老人の方々と料理をしたり旅行ではできない経験をした。泊まった施設もかなりローカルな体験ができたが、主にシャワーやトイレなどが慣れていないと難しいかもしれない。
3) 現地での生活に関すること
滞在先が大学からも近く、かなり栄えている場所だったのでとても楽に生活ができた。困っていても頼れる人がいる状態だった。とにかく優しく楽しそうに生活をしている人が多いので、気楽なマインドで乗り切れる。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
学校にいる時間は基本的にバディと過ごす。今回は5人のバディが居て、とても快く接してくれた。授業中はTAとして手伝ってくれ、そのほかの時間は観光など案内したり通訳してくれたりと色々な面で支えてくれた。基本的に英語での会話となるが、積極的に交流すればとても仲良くなれる。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
プログラム外では特に交流はなかった。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
電車やショッピングモールに入る際に検査機を通る必要があること。 ドリアン持ち込み禁止の表示がある。 猫や犬がどこにでも居る。 現地の人はバイクタクシーを主に使う。 トイレは紙をながせないところも多く、蓋は開けておくのが基本的マナー。 食べ物に本気で、モールにはレストラン・カフェが基本的に 2、30 店舗ほどあり、屋台がどこにでもある。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

もしこの研修をいくつか迷っていたら、迷わず参加すべきだと断言できるほど良い経験ができた。もちろん、最初は文化の違いや生活リズムの違いで少ししんどいと思うこともあったが、慣れてくるととても生活しやすいと思えた。日本との大きな違いはやはり考え方で、「マイペンライ」の精神でいつも前向きで細かいところは気にしない。反対に似ているところも結構あるなと思っていて、ほかの人を思いやる気持ちや和を重んじる価値観を基盤の考えを持つ人が多かった。宗派は違うものの仏教国家であり、アニミズム的思考に至るところに見られていたので、共通点を見つけたりその中でも違う点を比較したり、興味深い二週間になった。タイは ASEAN 諸国の中でも日本との交流が深く、日経企業もかなり多い。想像していたよりも日本語での記載があったり、実際に日本の方も出会ったりして、実体的に日泰関係を実感した。

アドバイスとしては、タイ文化言語プログラムに限らず、参加してみたいプログラムや留学があったら勇気を出すこと。最初は申請を後悔したり、どうなるんだろうという不安がある時もあったが、いざ行ってみると来て良かったと思うことが本当に多かった。正直全部がプラスの経験ではないけど、よくなかった点も含めて自分の成長ややりたいころ、やってみたいことにつながっているように感じる。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	タイ 言語 & 文化研修
-----	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20,000 円	平日の夕食のほかにもカフェなども利用した
図書費・学用品費	0 円	大学からテキストが配られる
携帯・インターネット費	0 円	Ahamo の海外ローミングを使用した
現地通学費	0 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	3,400 円	タイ式マッサージ1回
被服費	2,500 円	洋服を 1 着購入した
雑費	3,000 円	自由行動などの交通費
その他	23,000 円	例:お土産
合計	51,900 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 羽田空港で 5,410 円分換金(1000THB のみの取り扱いだった)、現地で 19,000 円換金

その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

カード不可なところやある程度の金額を買わないと使えないという店が多かったので現金必須。また、私はタッチ決済ができないカードを使っていたが、タッチ決済が主流(たまにタッチしかできない店がある)なので、対応しているカードのほうが楽。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

ahamo を使用しているため、その海外ローミングを利用した。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

ペットボトルのカバー: ペットボトルがすぐ結露するためあってよかった。タコ足配線: ホテルのコンセントが少なく、少し不便だった。多めのティッシュペーパーやウェットティッシュ: 何かと使う場面が多かった。トイレにティッシュがない場所もあったため。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

たびレジの情報を参考にした。比較的治安がよく、人通りや車通りが多かったため、そこまで心配せずに生活できた。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

特に不便なことはなし

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) ホテルの部屋が大きくて、3人でも狭いとは思わなかった。また、ホテルの方が親切にしてくれたり、日本語で話しかけてくれたりしたため印象が良かった。個人的には朝食がおいしくて毎朝のモチベになっていた。ペットボトルを毎日1本置いてくれて、タオル類も毎日交換してくれた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 短期留学のため座学の授業はあるが、比較的自由に過ごせたり、体験型の授業も多かったところ。英語もそこまで得意ではなく、タイ語は全くわからない状態であったが、体験型授業のため楽しむことができ、参加してよかったと思う。また、留学経験がなかったため、最後に違う国の大学生活というものを体験することができて思い出になった。
2)課外プログラムについて 1泊2日でバンコクから離れた場所に行った。大学内での学習とは異なり、観光名所をたくさん巡り、フルーツ狩りなどができて楽しかった。移動はバンだったため楽だった。基本外での活動になるため、暑さ対策が必要。コテージのようなところでバディと一緒に宿泊したため、小学校の体験学習のようで楽しかったが、ローカルな宿泊施設だったため、少し不便なところもあった。
3)現地での生活に関すること タイのショッピングモールに入っているフードコートの量が多く、食事に困ることは全くなかった。また、食べるものに関しては物価が安いので、今まで食べたことのない食事にチャレンジしやすかった。タイは物価が安いと聞いていたが、食事以外ではそこまでではなく、日本と同じ感覚だったと思う。乾季ではあったが、とても暑く、日傘やハンディファンは必須。衛生面の心配をしていたが、明らかにダメそうなものを食べなければ、食あたりなどの心配はないと思う。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 バディが本当によくしてくれた。一緒に食事をしたり、遊んだりしてくれたりして、コミュニケーションを取る機会は多かったと思う。また、帰国する際には空港まで見送りに来てくれ、別れを寂しそうにしてくれていて、本当に親身になって支えてくれつつ、私たちのことを大切に思っていてくれたのを感じて嬉しかった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 バディが夜ご飯を誘ってくれて一緒に参加した。帰り際には一緒に街を歩いて案内してくれたりもした。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 トイレトペーパーについて、ホテルは流せたが、基本的には流せないところが多い。 交通ルールがあつてないようなものなのか、日本の感覚で道を渡ろうとすると少し危険な場面があったり、渡るタイミングを見計らう必要があった。 時間に割と寛容で大学の授業の始まりなど時間きっちりというわけではなく、ゆったりとしていて個人的には過ごしやすかった。 タイの大学では生徒のことを子供のようによく考えてくれる先生が多いらしく、本当に親身になってくれた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

タイの食文化に興味をもって参加したが、タイ語もわからず、歴史などにも知見があまりなかったため当初は不安に感じていた。しかし、研修中に学んでいくことができ、バディとのコミュニケーションも覚えたとのタイ語で伝えようとする意図を組んでくれたりした。バディが話しかけてくれて私の拙い英語でも理解しようとしてくれたため、少し会話することができたが、もっと話しかけに行けばよかったと思う。 タイ料理が好きでたくさんの料理を食べたいと思っていたが、フリーなのが夕食だけなのと大学が提供してくれるおやつや食事で常に満腹で、狙っていたものが食べきれなかったのが少しだけ心残りとなった。(それだけ食には困ることはない！) そこまで堅苦しい学びの比重が多くなかった分、気軽に参加できると思う。また、大学4年での参加は遅いかもしれないとも思っていたが、最後の思い出作りにもなったため、学年関係なく誰でも楽しめるプログラムだと感じた。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	タイ言語 & 文化プログラム
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20000 円	朝食、昼食は提供されるため夕食と間食での費用。
図書費・学用品費	0 円	大学からプリントでテキストは配布されます。
携帯・インターネット費	6000 円	eSIM を購入
現地通学費	0 円	(研修先まで 15 分) ホテルから徒歩
教養娯楽費	10000 円	お土産代、ツアー代、電車代など
被服費	8000 円	半袖シャツ、帽子、象パンツ
雑費	12500 円	主にお土産代
その他	500 円	例: チップ代
合計	57000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現金4万円をタイについてから駅で両替をした
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
基本的には現金を使って支払っていた。タクシーやデリバリー、駅などはカードで支払うほうが簡潔なので VISA を持っていくと良い。ただし何パーツ以上からカードが使えるようになったり、そもそもカードが使えないお店もあるため現金は必須。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
DeSIM というサービスを使って eSIM を買った。通信無制限のプランにしたが思ったよりもギガは使わなかった。現地でも購入できるがあらかじめ買っておくとよいと思う。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
シャンプー、ボディソープはあまり泡立たないため持っていくと良い。また日差しが強いため日焼けを気にするなら日焼け止めや日傘が必要。またあつちは蚊が多く、デング熱のリスクもあるため虫よけスプレーは常に持っていたほうが良い

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前にインターネットで調べていたことは他に、タイムリーなことについては在タイ日本大使館からメールで配信された。実際にトラブルに巻き込まれたことは特になかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
eSIM を買っていたため通信で困ることは特になかった。また大学では WiFi が提供されるので問題なし。フリーWiFi は念のため接続しなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

二人部屋でしたが、広々としていて過ごしやすかった。また朝のビュッフェも美味しかった。また、ジムやプールなどの設備も最低限そろっていた。シャンプー、ボディソープはあまり泡立たないため持参したほうがいい。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

常にバディの人たちがついていてくれて案内してくれたり、タイについて教えてくれたりしてもらった。また日本人メンバーたちと仲良くなれるか不安な部分もあったが、みな親しみやすすぐに打ち解けることができた。また授業の休み時間でタイのお菓子を提供してくれていたため空腹に困ることもなく同時にタイ料理も味わえた。悪かった点は特にない。

2)課外プログラムについて

有名な観光スポットに行くだけでなく、地方にいったタイの伝統的な踊りを学んだり、果物狩りをさせてもらったり、伝統料理を作る体験などをして旅行では味わえない経験ができた。またお寺などを訪れた際に、常に先生やバディがついて来てくれていたおかげで作法や注意事項を知ることができた。

3)現地での生活に関すること

交通量が多く道を横断するにも一苦労掛かるが、図々しくいくことも時には必要だと感じた。
生活用水は飲めないため、ミネラルウォーターは多すぎるくらいでちょうどいい。学校でも無料で配布されるため多め取っておくとよい。
ホテルのランドリーサービスは高額なため近くのランドリーサービスに行くのがよい。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業や課外活動では常にバディと一緒にいてくれたため、常に話す時間があつた。フレンドリーで話しやすい一緒にいてとても居心地がよかった。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

バディたちとは放課後にトゥクトゥクに乗って一緒にタイ料理やスシローを食べに行った。そのあとにカフェやタイティーのお店など案内してもらった
また別日には広い公園にいったボートを漕いだりもした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

気温が常に高いため、日本が冬なのにもかかわらずタイでは一日中半袖で過ごしていた。また気温のせいで蚊があちらこちらに飛んでいた。
トイレの紙を流すと詰まってしまう恐れがあるため、紙はごみ箱に捨てるというのに始めはなかなか慣れなかった。またトイレのふたを閉めてしまうと壊れているという認識になってしまいがどうしても毎回ふたを閉めてから気づいていた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回のプログラムは自分にとって、ほとんど初めての海外で参加する前に人間関係や英語の能力で不安なことがあつたがすぐにタイでの生活に順応することができた。価値観の違いや文化の違いに触れ、少しでも視野が広がったと感じている。そして何より、バディや現地の方々、同行した日本人メンバーと過ごした時間が一番の思い出である。今後の学校生活では、今回のプログラムで露になった自身の英語能力を向上させ、他の国にも行ってみたいと思う。迷っているなら思いきって参加してみてほしい。